

歯医者と目医者で検診を行なってもらった。					
④保険関係の準備（加入した海外旅行傷害保険・留学保険等）					
全額交換留学で義務付けられている海外保険と、Swisscare(スイス留学には必須)。ほぼ同額の保険料です。					
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科（教育部）で行った手続きなど（履修・単位・試験・論文提出等に関して）					
特になし。普段通りおこなった。					
⑥語学関係の準備（出発前の語学レベル・語学学習等）					
英会話教室に通い、ドイツ語の授業を履修した。語学はできればできるほどいいが、できないからといって留学を諦める必要はないと感じた。					
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど					
入浴用の体を洗うタオルだけでもみつからなかった。他はなんでも手に入った。					
学習・研究について					
①履修した授業科目のリスト（授業を履修した場合） ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの（又は行う予定のもの）に●をつけてください。					
授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Landscape Architecture II	1		Architektur und Fotografie	2	
Urban Mutations on the Edge: Degrowth	2		Serendipity: Landscape Acoustics. Mapping Sounds in Kyoto Gardens (Ch.Girot)	2	
Seminarwoche Frühjahrssemester 2016	2		Seminarwoche Herbstsemester 2015	2	
Architectural Design V-IX: A Proposal	13		Entwurf V-IX: Moderne Städte - Réinventer Paris	13	
Architektur VIII	2		Architektur VII	2	
②留学中の学習・研究の概要（授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等）					
デザインスタジオの授業がメインの構成だった。模型の作り方、プレゼンテーションの仕方、何から何まで違って新鮮だった。前期は方法論が明確に与えられているスタジオ、後期はより自由なテーマでデザインをおこなうスタジオを履修し、違いを味わった。ここでしかできないことと、どこでもできることの大切さを学んだ。					
③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間（授業時間・授業以外の学習時間）など					
履修科目、単位数は上記の通り、自分は日中はほぼ学校のスタジオにこもる生活だった。					
④学習・研究面でのアドバイス					
違うことと、変わらないことを考えるようになった。どちらが大切かは、進路次第なんだと思う。					
⑤語学面での苦労・アドバイス等					
ドイツ語圏ですが、英語で生活しました。特に不自由は感じないと言ったら嘘になりますが、不自由は感じにくくなっていきます。喋られなくてもいいような振る舞い方もあるように思います。					

生活について	
①宿泊先（種類（寮・ホームステイ・ルームシェア等）、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など）	
ETHの生活課の対応で、学生寮に495chf/month。いろんな国からの留学生と仲良くなれるので楽しかった。	
②生活環境（気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法（海外送金・クレジットカード）など）	
涼しくて過ごし易い、キャンパスは建築学科は丘の上にあって、牛がいます。食事はそんなにおいしくありません。日本から奨学金をもらっていたので、日本のデビットカードで生活していました。	
③危機管理関係（留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など）	
虫歯にはならぬように気をつけました。いろんなところでテロが起っていますが、地震がないので、危険度はそんなに日本とかわらないのかもしれませんが。	
④留学に要した費用について（航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算）	
・毎月の生活費とその内訳	
15万円くらいでやりくりできていたように思います。食事だけとても高いですが、自炊すれば節約できます。本はいっぱい買いました。交通費も定額パスを購入。25歳以下は19時以降交通機関がタダになるチケットがあり、重宝しました。	
・留学に要した費用総額とその内訳	
奨学金が月16万円。ほぼそれで過ごしました。旅行をすると、少しオーバーしました。	
⑤奨学金（受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など）	
トビタテ。友人に教えてもらいました。支給額は上記の通り。友達が見つけれられるので、とても良いです。オススメします。	
⑥学習・研究以外の活動（スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など）	
留学期間後の7月から9ヶ月間、ETHの教授の事務所でインターンすることになった。長期休暇は隣国にも足をのばした。ヨーロッパの真ん中に位置するのが、スイスの利点のひとつです。	
派遣先大学の環境について	
①留学生へのサポート体制（語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等）	
特に不都合はなかった。質問には真摯に答えてくれた。	
②大学の設備（図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等）	
図書館が素晴らしかった。スポーツ施設も充実していたが利用しなかった。PC関係、ソフトウェア、プリンターなど完備されており、工学部にも導入して欲しいと感じた。	
留学と就職活動について	
①（就職活動を既に行った場合）留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど	
留学と就職活動をセットで考えたことがないのでわかりません。すくなくとも就職活動にデメリットがあるとしても、留学のメリットはそれを上回ると思います。	
②（今後就職活動を行う場合）留学が就職に対する考え方に与えた影響	
日本の建築事務所で働いてみようと思った。もう一度日本に帰って相対化できる手段だから。あるいはその後、もう一度海外に戻ってきたいとも感じている。	

③留学中の就職活動への対策など（もしあれば）	
特になし。	
④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください	
<input type="checkbox"/> 1.研究職 <input type="checkbox"/> 2.専門職（法曹・医師・会計士等）（職名： ） <input type="checkbox"/> 3.公的機関（機関名： ） <input type="checkbox"/> 4.非営利団体（団体名又は分野： ） <input type="checkbox"/> 5.民間企業（企業名又は業界： ）	
留学を振り返って	
①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感	
違うこと、変わらないこと。その二つに尽きるように思う。そのことを日々感じた。そのための技術、語学などはなるべく身につけておいたほうがいいが、なくてもそこから別の何かをえることは必ずある。	
②留学後の予定	
まずは立派な修士論文を提出したい。	
③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス	
いろんな経験をすることが大切だと思っている。留学はその一つの手段だと思う。明確な目的があってもいいだろうし、漠然とした目標でもいいと思う。思うように行くこともあるし、行かないこともある。努力で解決できることもあるし、できないこともある。それでもまず始めてみることには意義があるし、留学もそういう意味では絶好の機会だと思います。	
その他	
①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物	
https://einschreibung.arch.ethz.ch/welcome.php	
②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。	
	